

2014 年度政務活動費使用状況報告

2015 年 5 月 26 日 日本共産党品川区議団幹事長 飯沼雅子

1、日本共産党区議団の 2014 年度政務活動費概要について

日本共産党区議団は、2014 年度政務活動費総額 11,400,000 円の支給を受け、11,392,408 円を使用しました。活用の内訳は下記の通りです。なお、残金 7,592 円は区に返却しました。

① 調査研究費	124,971 円 (1.10%)	② 研修費	130,654 円 (1.15%)
③ 会議費	21,000 円 (0.18%)	④ 資料費	835,189 円 (9.66%)
⑤ 広報・活動費	3,834,587 円 (33.66%)	⑥ 事務費	2,238,674 円 (19.65%)
⑦ 人件費	4,207,333 円 (36.93%)		

2、政務活動費活用の内容について

①**調査研究費**：「高齢者の入院時負担軽減条例」の提案に当たり、高齢者医療費無料の施策を学ぶための日の出町視察の交通費、図書館指定管理者問題の学習会講師料、カジノ賭博問題学習会の資料代や参加費、区政懇談会の会場費に使用。区民の意見や要望を質問や条例提案として議会に反映させました。広く区民意見を聴取するための第 10 回区民アンケート回収受取人払い代に使用。アンケートに寄せられた意見を議会質問に生かしました。②**研修費**：オリンピック・パラリンピック問題学習会の参加費と交通費に使用。議員団合宿の宿泊費や交通費に使用。区政問題の分析や学習、今後の取り組みを議論しました。③**会議費**：団体との懇談会の会場費、区政報告会の資料印刷紙代に使用しました。④**資料費**：防災、社会保障、教育、保育、労働問題などの書籍を購入しました。新聞や「議会と自治体」「保育情報」「社会保障」などの定期雑誌代やコピーカウンター料などに使用しました。⑤**広報・活動費**：定例区議会終了毎に区議会報告を発行し全戸配布、さらに特養ホームや品川の福祉、道路問題・防災や保育園問題で号外、区議がそれぞれにニュースを発行、区民に区政の状況を報告し意見を聴取する活動を引き続き重視しました。⑥**事務費**：議会質問から区議会報告、区議ニュース、区議団の声明などホームページで公開、その更新委託料や事務機器のリース料・保守点検委託料、事務用品などに支出。⑦**人件費**：議員団の質問に必要な情報収集や整理、政務調査活動の補助として専任事務局員を 1 名配置。

3、政務活動費活用の特徴について

特定整備路線や超高層ビル再開発に巨額の税金をつぎ込みながら熱中し、福祉は 23 区で最低、認可保育園や特養ホームの建設に背を向ける区政の告発と日本共産党の対案を示す区議会報告を何種類も作成し、全戸配布を行い区民に知らせてきました。世論が広がり、議会論戦や住民運動と結んで 23 区で最低の品川の福祉が新年度予算で改善、入院時の紙おむつ代支給制度や緊急通報システムの利用料引き下げ、福祉タクシー券や障害者福祉手当の増額などが実現しました。

特定整備路線問題では、議会論戦によって道路が防災の役に立たず、大義がないことを明らかにし、特集号で区民に知らせました。1154 人という過去最悪の保育園待機児を生み出した問題についても特別号の発行や区政報告会などで区民に知らせ、そこから寄せられた父母の思いを議会でお届け、認可保育園の増設を区長に厳しく迫ってきました。

各団体との懇談会を行い、出された要望は議会質問で取り上げ、2015 年度予算要望 359 項目の中にも反映させ区長に提出しました。

以上が日本共産党区議団の 2014 年度政務活動費使用状況の概要です。引き続き、政務活動費運用指針に則って使用することは当然のこと、常に住民目線でチェックし適切な運用に努力します。